

令和5年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：佐賀県

農業委員会名：太良町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和5年4月1日現在)

※「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 R2 年 7 月 20 日

任期満了年月日 R5 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	8	8
認定農業者	—	5
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	1
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	11	11	3

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	712
農業経営体数	567

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	822
女性	371
40代以下	96

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	104
基本構想水準到達者	37
認定新規就農者	9
農業参入法人	13
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	367	923				1,290

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	1,290 ha	430 ha	33.3 %
課題	狭隘、急傾斜の中山間農地が多くを占め、農業従事者の高齢化等による遊休農地化も進行している。平坦部については、自給的水稻栽培がほとんどで所有者の権利意識も強いいため、農地の利用集積が進まないじょうきょうにある。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	R5 年度	集積率	80.2 %
今年度の新規集積面積	610 ha	農地面積(C)	1,290 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	1,040 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	80.6 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③ 実績

今年度の新規集積面積	-2 ha	農地面積(F)	1,270 ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	428 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	33.7 %
目標に対する達成状況(H)／(E)	41.8 %		

農業委員会の 点検結果	新規集積面積は前年度より2haの減少となったが、農地面積が減少したため、集積率は上昇した。農家の高齢化や後継者不足が深刻化する中での農地利用集積は難しい状況にあるが、法人参入などいろいろな視点から一定の目標をもって取り組む。
----------------	--

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	235 ha	216 ha	19 ha
遊休農地の多くは、中山間地の樹園地で、耕作条件が悪く、農家の高齢化、後継者不足により新たな遊休農地が発生している状況であり解消が難しい。			

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	328.4 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	65.7 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	13.0	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	中山間地の狹隘、急傾斜地の樹園地等、耕作条件が悪い山林化した農地については、農地回復することが難しいため非農地判断をして整理する。それ以外の農地については、基盤整備事業等を活用し農地再生に向けて推進を図る。	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

ａ 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	141.4	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	215.2	%

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	策定していない
-------------------------	---------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.8	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年8月～12月		令和6年1月～2月	
	1号遊休農地の面積	105.8 ha	うち緑区分の遊休農地	75.0 ha
			うち黄区分の遊休農地	30.8 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和6年3月		令和6年3月～4月	

農業委員会の点検結果	利用状況調査でB分類に見直しをしたため、大幅に目標を達成することができた。
------------	---------------------------------------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	R2年度新規参入者		R3年度新規参入者		R4年度新規参入者	
	1	経営体	2	経営体	1	経営体
	1.3	ha	1.9	ha	0.2	ha
課題	新規就農者については、親元就農が大部分を占めており、Iターン等での新規参入促進は人口減少が続く中で非常に厳しい状況である。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	R2年度	R3年度	R4年度	平均
	7 ha	10 ha	6 ha	8 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	0.8 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		6.1	ha
公表URL	https://www.town.tara.lg.jp	(その他の公表方法)	
目標に対する達成状況(B)/(A)		762.5	%
(参考)新規参入者の参入状況	参入経営体数	5	経営体
	取得農地面積	6.1	ha

農業委員会の点検結果	今年度に関しては、夫婦での新規参入やトレーニングファームでの研修を終えた方の参入などがあり、多くの実績があった。すべてが施設園芸の参入であり、今後も高収益が見込める施設園芸の参入が増える予想される。
------------	---

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	8	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	8	人
			農地利用最適化推進委員の人数	11	人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月	①農地の集積	農業従事者の利用意向も含め、後継者や貸借相談等を重点的に行う。
1月	②遊休農地の解消	農業従事者の利用意向も含め、遊休農地の今後の活用対策を重点的に行う。
2月	③新規参入の促進	中間管理機構、JA等と連携し、新規農業者参入のための強化活動を行う。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の結果
12月	①農地の集積	農業従事者の利用意向も含め、後継者や貸借相談等を重点的に行った。
1月	②遊休農地の解消	農業従事者の利用意向も含め、遊休農地の今後の活用対策を重点的に行った。
2月	③新規参入の促進	中間管理機構、JA等と連携し、新規農業者参入のための強化活動を行なった。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行なった具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	2月	相談会名	太良町新規農業者参入相談会
参加者数	1名以上	開催場所	しおさい館
相談会の内容	事前に予約を受け付け、新規に農業を開始しようとしている方を対象に相談会を開催する		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	2月	相談会名	太良町新規農業者参入相談会
参加者数	1名以上	開催場所	太良町役場2階 会議室
相談会の内容	新規に農業を開始しようとしている方を対象に、農林水産課と協力して相談会を行った。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対し期待を上回る結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	
目標に対して期待どおりの結果が得られた	19
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入